

# 平成 30 年度(第 40 期)事業報告書

## I. 当期の経営概況

経済成長の根本に少子高齢化という構造的問題を抱え、これに伴う生産人口の減少は経済成長の制約要因となり、社会保障の観点からも影響が懸念されています。生産人口減少の問題に対し、経済の更なる成長と次世代に対しての豊かな社会を形成するため、働き方改革では、企業等の対応として雇用や労働時間規制、産業医機能の強化などのワークスタイル変革が求められています。

当協会としても、働く人ひとり一人の健康とこれを支える健康社会の実現のため、疾病の早期発見・早期治療、労働者の健康保持増進、特定保健指導やメンタルヘルスケア支援を推進しました。

平成 30 年 6 月には、県内 3 施設目となるとやま健診プラザ、併設の千代田循環器内科クリニックを開設。6 月 22 日に記念式典を執り行い、26 日まで内覧会を開催。石井富山県知事を始め多くの行政・医療機関関係者や企業・団体の担当者にお集まりいただきました。

社内体制では、新センター開設に向け医師や医療スタッフ採用の強化を行いました。また、教育研修(健康・安全教育等)の整備や健康経営や品質管理等の非財務の取り組みをCSR報告書としてまとめ、当協会に関わるステークホルダーに向けて情報公開を行っています。平成 31 年 2 月には、平成 29 年から 3 年連続となる「健康経営優良法人認定(ホワイト500)」に選定されました。

事業の経過と業績を見ると、7 月度以降、とやま健診プラザの開設が寄与し受診者が伸長。指定管理事業を除く健診事業等は、売上高 2,103 百万円(前期比 107.6%)となりましたが、新センターに来所する受診者を十分に確保できておらず、経常損益は、-68 百万円(前期比-57.6%)となっており、黒字化が今後の課題となりました。

富山市角川介護予防センターにおける指定管理事業については、前期同様の収入で、ほぼ収支均衡となっています。

調査研究および普及啓発事業については、支出額は減少となりました。



## Ⅱ. 調査研究および普及啓発事業(継1事業)

### 1. 調査研究

健診結果データをまとめた事業年報は、複数年発行としたため今年度は発行しませんでした。研究発表では、健康診断の結果と既往歴情報による循環器疾患および糖尿病の年代別既往者割合と罹患率、検査の有効性について疫学的研究を行い、学会発表や広報誌上への掲載等により公開しました。

| 区 分  | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 |
|------|----------|----------|
| 事業年報 | —        | —        |
| 研究発表 | 4 件      | 5 件      |

### 2. 普及啓発

広報誌発行では、事業場や団体、関係機関向けに年 4 回の配布を実施しました。

健康セミナーでは、特定非営利活動法人県康経営研究会岡田邦夫先生を招聘し、「健康経営と働き方改革」についての講演、(株)能作 代表取締役社長能作克治氏より取り組み事例発表、施設長山上、岡田先生、富山産業保健総合支援センター所長、当協会理事長でパネルディスカッションを行いました。その他、他機関・団体の行うキャンペーンへの協力として施設内ポスター掲示や Web での広報、事業所へのパンフレット配布、世界禁煙デーの街頭協力等を行いました。また、富山県 THP 推進協議会事務局として、富山県産業安全衛生大会や全国産業安全衛生大会に参加し、全国 THP 推進協議会表彰では、県内企業に対し優良賞の伝達を行いました。

| 区 分            | 平成 30 年度 | 平成 29 年度          |
|----------------|----------|-------------------|
| 広報誌発行          | 8,560 部  | 8,200 部           |
| 健康セミナー(参加員数)   | 180 人    | —                 |
| 全国 THP 推進協議会表彰 | 株式会社ホクタテ | 北陸コカ・コーラボトリング株式会社 |

## Ⅲ. 予防医療事業(他1事業)

### 1. 巡回健診および施設健診

巡回健診では、職域や地域の検診等の受診率の向上、施設健診では、人間ドック等のより質の高いサービスを目指し、また、事後フォロー向上に努めました。巡回健診は横ばい、とやま健診プラザの設置に伴い施設健診での生活習慣病健診やドック健診を中心に受診者増加となりました。

| 区 分              | 平成 30 年度  | 平成 29 年度  |
|------------------|-----------|-----------|
| 巡回健診(集団健診)       | 257,879 件 | 257,986 件 |
| 健康管理センター(施設健診)   | 25,938 件  | 29,073 件  |
| 高岡総合健診センター(施設健診) | 33,619 件  | 33,423 件  |

|                |           |           |
|----------------|-----------|-----------|
| とやま健診プラザ(施設健診) | 9,335 件   | —         |
| 定期健康診断等        | 188,545 件 | 184,083 件 |
| 雇入時健康診断        | 3,489 件   | 2,761 件   |
| 特殊健康診断         | 50,642 件  | 50,504 件  |
| その他検査等         | 11,201 件  | 11,534 件  |
| 生活習慣病健診        | 39,995 件  | 37,222 件  |
| ドック健診          | 4,026 件   | 3,607 件   |
| 住民健診           | 17,797 件  | 19,070 件  |
| 学校健診           | 11,076 件  | 11,701 件  |
| 精密検査の勧奨        | 4,619 事業場 | 4,362 事業場 |

## 2. がん検診

集団検診等によるがん検診状況は、胃がん、子宮がんで減少傾向。乳がん肺がんでほぼ前年並み、大腸がんは増加となりました。

| 区 分    | 平成 30 年度  | 平成 29 年度  |
|--------|-----------|-----------|
| 胃がん検診  | 33,025 件  | 35,769 件  |
| 子宮がん検診 | 8,517 件   | 9,028 件   |
| 乳がん検診  | 12,178 件  | 12,773 件  |
| 大腸がん検診 | 58,426 件  | 54,350 件  |
| 肺がん検診  | 157,825 件 | 157,425 件 |

## IV. 健康づくり支援事業(他1事業)

### 1. 健康づくり支援

労働安全衛生法や高齢者医療確保法、健康増進法等に基づき、医師や専門スタッフを職場に派遣し、有所見者に対する保健相談や特定保健指導を行いました。その他、運動・栄養スタッフを派遣し、出張教室を行いました。また、高岡総合健診センターでは月 2 回ストレッチ教室を開催しています。

また、昨年度に引き続き今年度も富山大学北アルプス双六小屋診療所に夏山「登山」のピーク時に当協会増山医師、看護師、放射線技師が診療ボランティア活動を行いました。

| 区 分            | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 |
|----------------|----------|----------|
| 運動・栄養・健康教室(訪問) | 113 回    | 163 回    |
| 産業保健相談         | 1,940 人  | 1,888 人  |
| 特定保健指導         | 2,346 人  | 1,778 人  |
| 電話保健相談         | 293 件    | 304 件    |

### 2. メンタルヘルス

ストレスチェック制度4年目の H30 年度では、ストレスチェック結果の活用と職場環境改善について事業場担当者への支援を通じ、浸透を図りました。企業ニーズも集団分析から職場環境改善に活用するとり組

み件数が増えてきました。

| 区 分                 | 平成 30 年度                        | 平成 29 年度 |
|---------------------|---------------------------------|----------|
| 教育研修・セミナー           | 74 回                            | 82 回     |
| EAP(従業員支援プログラム)サービス | 64 社                            | 65 社     |
| ストレスチェック(全衛連方式)     | 49,814 人<br>(男 31,458 女 18,356) | 48,189 人 |
| カウンセリング             | 162 回                           | 225 回    |

## V. 富山市角川介護予防センター事業(他2事業)

| 区分             | コース               | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 |
|----------------|-------------------|----------|----------|
| 基本事業           | QOL ツアー体験コース      | 482 人    | 554 人    |
|                | QOL ツアー3ヶ月コース     | 16,087 人 | 15,219 人 |
| 自主事業           | 介護予防会員            | 59,812 人 | 62,524 人 |
|                | メタボ教室             | 3,316 人  | 3,182 人  |
|                | ロコモ教室             | 729 人    | 496 人    |
|                | 脳活性化教室(ライフキネティック) | 899 人    | 936 人    |
| 自主事業<br>(委託事業) | 介護予防教室            | 1,858 人  | 1,934 人  |
|                | 特定保健指導の支援         | 245 人    | 555 人    |

## VI. 理事会・評議員会の開催

### ○理事会

|       |             |  |
|-------|-------------|--|
| 第 1 回 | 平成 30 年 5 月 | 計算書類・事業報告、公益目的事業計画実施報告の承認、評議員会の招集の決定、新センター建設資金等長期借入金、従たる事務所の設置 |
| 第 2 回 | 平成 31 年 3 月 | 事業計画・収支予算、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認                             |

### ○評議員会

|       |             |   |
|-------|-------------|---|
| 第 1 回 | 平成 30 年 6 月 | 計算書類・事業報告、公益目的事業計画実施報告の承認、新センター建設関連の承認、任期満了に伴う役員の選任 |
|-------|-------------|---|

### ■ 附属明細書について

平成 30 年度事業報告書には、「一般財団法人及び一般社団法人に関する法律施行規則第34条第3項」に規定する附属明細書(事業の内容を補足する重要な事項)が存在しないため、作成しない。